

防災行政無線用戸別受信機

品名 1KDK-5A受信機
取扱説明書

この説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
そのあと大切に保存し、必要なときお読みください。

防災行政用通信機器を

安全にお使いいただくために

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
ご使用前に必ずこの「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られる所に必ず保存してください。

絵表示について

この絵表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

-  **危険**
この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
-  **警告**
この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
-  **注意**
この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損傷のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

-  △記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。
-  ○記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
-  ●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜き）が描かれています。

警告

- 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。
すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ずAC電源ケーブルをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して各自治体担当窓口へ修理をご依頼ください。
- 万一、水や異物が機器の内に入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、必ずAC電源ケーブルをコンセントから抜いて、各自治体担当窓口にご連絡ください。
そのまま使用すると火災、感電の原因となります。
- 万一、機器が破損したり、AC電源ケーブルが痛んだりした場合は、機器本体の電源スイッチを切り、必ずAC電源ケーブルをコンセントから抜いて、各自治体担当窓口にご連絡ください。
そのまま使用すると火災、感電の原因となります。
- 機器は、カバーを外したり改造しないでください。
火災・感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は、各自治体担当窓口にご依頼ください。
- 指定された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。
火災・感電の原因となります。

AC100V 50/60Hz

注意

- 機器は、機器仕様で定めてある使用環境条件内の温度・湿度で使用してください。また、風通しの悪い所に置いたりしないでください。
火災の原因となります。
- 機器は、周囲に引火性ガス、腐食性ガスのあるところで使用しないでください。
火災の原因となります。
- 指定以外の機器には使用しないでください。
火災の原因となります。
- AC電源ケーブルを長期間差し込んだままにしておくと、差込部分に埃がたまります。年に一回くらいはAC電源ケーブルをコンセントから抜いて、掃除してください。
火災の原因となります。
- AC電源ケーブルを引っ張ったり、踏みつけたりしないでください。
AC電源ケーブル破損の原因となります。
- 電池は、加熱したり、分解したり、火のなかに入れないでください。
電池の破裂、液漏れにより、火災、けがややけどの原因となる場合があります。
- 電池は、指定のものを極性表示に注意し、表示どおりに入れてください。
また、種類の異なった電池や新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。
電池の破裂、液漏れにより、火災、けが、周囲を汚損する原因となる場合があります。
- 電池切れLEDが赤色点灯を始めた時、放送の終わりに電池残量メッセージが聞こえたら、早めに取り替えてください。
また、電池は定期的に（単1形、単2形で1年毎、単3形で3ヶ月毎）交換してください。
電池の破裂、液漏れにより、火災、けが、周囲を汚損する原因となる場合があります。

ライト／緊急解除スイッチ
緊急放送時に押すと強制最大音量を解除することが出来ます。
停電時に押すとライト／緊急解除LEDをON/OFFできます。
メッセージ再生後3秒以内に2秒以上の長押しで1つ新しいメッセージの再生を行います。メッセージ再生中（再生後3秒以上経過）に2秒以上の長押しでメッセージの冒頭に戻ります。

ライト／緊急解除LED
緊急放送中は白色点滅します。
停電発生から約5分間白色点滅します。
（ただし電池残量による）
停電時にライト／緊急解除スイッチを押すとLEDがON/OFFされます。

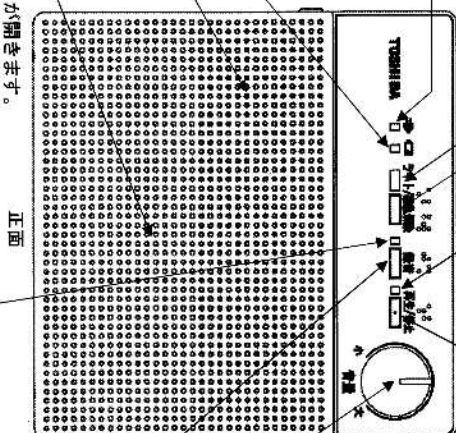
再生／停止LED
未再生のメッセージがあるとき緑色点滅します。
再生時に緑色点滅します。

電源LED
正常時には緑色点滅します。
放送時は緑色点滅します。
停電時（AC入力なし）は赤色点滅します。
装置アラーム時には橙色点滅します。

電池切れLED
電池残量が少なくなると赤色点滅します。

スピーカ
放送を受信するとスピーカは自動的に接続され放送の音声がかかります。

電池蓋
両側の突起を手前に引くとフタが開きます。
開める時は「バチン」と音がするまでしっかりと閉まるのを確認して下さい。



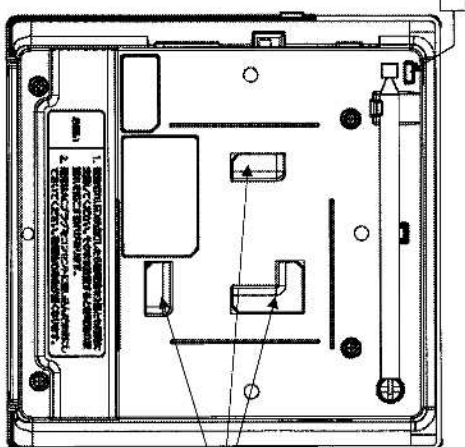
正面

再生／停止スイッチ
一度押すと録音されたメッセージの再生を行い、再度押すと停止します。
メッセージ再生中に2秒以上の長押しで1つ古いメッセージの再生を行います。
※録音されたメッセージは新しいものから順に再生されます。

音量調整ボリューム
音量を調整します。右方向に回すと音量が大きくなり、左方向に回すと音量が小さくなります。

録音スイッチ
一度押すと留守録音状態となり、再度押すと解除されます。
録音状態になると、放送された全ての放送が録音されます。
録音設定が解除されると役所側で指定した放送のみが自動録音されます。

録音LED
録音中のとき赤色点滅します。
留守録音設定時に赤色点滅します。



背面

ハンドストラップ取付穴
ハンドストラップ（オプション）を使用する際はこちらの取付穴に取り付けてください。

壁掛ホルダ用引掛け部
壁掛ホルダ（付属品）を使用する際は凹部を壁掛けホルダに取り付けてください。

ロッドアンテナ
アンテナをいっばいに伸ばして受信して下さい。角度を変えると受信できなくなる場合がありますので設置時の状態を保って下さい。
外部アンテナ使用時は傾けてアンテナホルダに固定して下さい。

外部スピーカ用コネクタ「外部スピーカ」
外部スピーカを使うときは、インピーダンス8Ωのスピーカをこちらのコネクタに接続して下さい。
※イヤホンには接続しないで下さい。

オプション用端子「オプション」
オプションの外部機器を取り付ける時に使用します。
※自治体で接続した機器以外は接続しないで下さい。

電源スイッチ「電源」
「入」で電源が入り、「切」で電池が切れます。常時「入」にして下さい。

AC100Vソケット「AC100V」
付属の電源コードを差し込んで下さい。

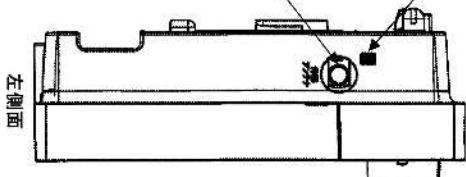
電源コード（付属品）

ケーブル長 約3m

ACアダプタ
使用中は必ずコンセントに差し込んでおいて下さい。
プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源スイッチを「切」にしてください。
電源プラグ
常時 AC100V ソケットに差し込んでおいて下さい。
※電源プラグを AC100V ソケットに完全に差し込んだ状態で 5mm 程度隙間が出来ます。

ロッドアンテナ切替スイッチ
ロッドアンテナと外部アンテナの切り替えを行うスイッチです。
スイッチ 上：ロッドアンテナ接続状態
スイッチ 下：ロッドアンテナ切離し状態
※設置時に設定するので通常は触らないでください。

外部アンテナ用コネクタ「外部アンテナ」
電波の弱い所で、外部アンテナを使用する場合、「F」形コネクタ付の同軸ケーブルを接続します。このときロッドアンテナは、締めてアンテナホルダに固定して下さい。



左側面

LEDの機能

TOSHIBA

☐ ライト/緊急解除
 ☐ 録音
 ☐ 再生/停止

① ② ③ ④ ⑤

LEDの名称	LEDの状態	機器の状態
①電源LED	緑色点灯 赤色点灯 緑色点灯 緑色点滅	・正常時 ・停電時 (AC入力なし) ・放送信号を受信中 ・装置アラーム発生時
②電池切れLED	赤色点灯	・電池残量が少なくなったとき
③ライト/緊急解除LED	白色点灯	・緊急放送を受信中 ・停電時 (AC入力なし) に約5分間点灯 (ただし電池残量による)
④録音LED	赤色点灯 赤色点滅 緑色点灯 緑色点滅	・録音中 ・留守録音設定中 ・再生中
⑤再生/停止LED	緑色点滅	・未再生のメッセージがあるとき

録音方法

録音は自動録音、手動録音、留守録音の3種類があります。

自動録音	・緊急放送などの放送を受信した際、自動的に録音されます。 ・録音中は録音LEDが赤色点灯します。
手動録音	・放送受信中に録音スイッチを押すと、その時点から放送が録音されます。 ・録音中は録音LEDが赤色点灯します。
留守録音	・待受け時 (放送を受信していないとき) に録音スイッチを押すと留守録音が設定されます。留守録音設定中は放送されたメッセージがすべて録音されます。 ・録音スイッチを再度押すと留守録音は解除されます。 ・留守録音設定時は録音LEDが赤色点滅します。録音中は赤色点灯します。

※録音時間は最大60分、録音件数は最大120件です。

再生方法

再生/停止	・再生/停止スイッチを押して再生します。再生中は再生/停止LEDが緑色点灯します。 ・再生/停止LEDが緑色点滅で未再生メッセージがある場合に再生すると未再生の新しいメッセージから順に未再生メッセージのみが再生されます。 ・未再生メッセージがない場合に再生すると新しいメッセージから順にすべてのメッセージが再生されます。
スキップ	・再生/停止スイッチを再度押すと再生を停止します。 ・メッセージ再生中に再生/停止スイッチを2秒以上の長押しで再生中のメッセージを飛ばして未再生の1つ古いメッセージの再生を行います。
リバース	・メッセージ再生後3秒以内にライト/緊急解除スイッチを2秒以上の長押しで再生中のメッセージから戻って1つ新しいメッセージの再生を行います。
頭出し	・メッセージ再生中 (再生後3秒以上経過) にライト/緊急解除スイッチを2秒以上の長押しで再生中のメッセージの冒頭に戻ります。

その他のおもな機能

緊急放送時の音量	・緊急放送時は音源ボリュームの位置にかかわらず、最大音量で放送されます。音量が大きすぎるときはライト/緊急解除スイッチを押すと通常時の音量に戻ります。
停電時	・本機は家庭用AC100V電源で動作しますが、停電時は自動的に内蔵の乾電池での動作に切り替わります。

※録音をすべて消去する場合は、「録音」と「再生/停止」のボタンを同時に長押しします。

ご使用方法

□ 放送受信について □

放送の受信は、受信装置を次に述べるようにセットして行います。なお、この受信装置で受信する放送は、一般放送のように常には行われていません。また、放送途中に電源スイッチを入れても受信できませんのでご注意ください。

1. はじめに乾電池2個を装置内に装着して下さい。装着方法は「電池の交換について」の項を、参照して下さい。
2. 外部アンテナによる受信の場合は、ロッドアンテナを締めたまゝ「外部アンテナ」のコネクターに外部アンテナからのアンテナプラグを接続します。ロッドアンテナによる受信の場合は、ロッドアンテナを一杯に伸ばします。
3. 電源コードの電源プラグは「AC100V」のソケットに差し込みます。
4. 電源コードのACプラグをコンセントに差し込みます。
5. 電源スイッチを「入」側にします。
6. 定時放送受信時に、音量調節ボリューム「音量」で適度な音量にして下さい。ボリュームを右側にまわすと音が大きくなり、左側にまわすと小さくなります。なお、ボリュームを左側一杯にしても、音量は少し残るようになっていきます。

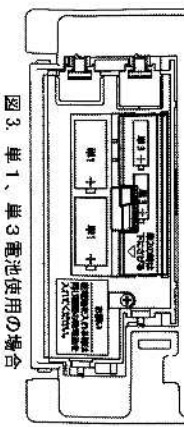
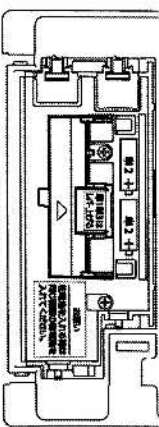
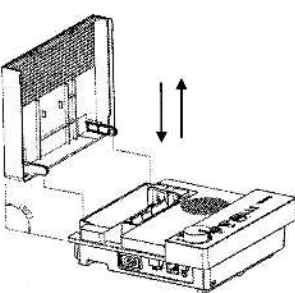
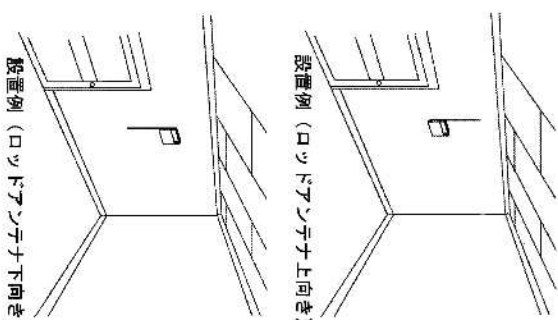
□ 電池の交換について □

下記の状態が確認されたときには、内蔵の乾電池が消耗し、電圧が低下していますので乾電池を交換して下さい。乾電池は、単1、単2、単3乾電池のいずれか一種類を2本使用して下さい。種類の異なる乾電池を混ぜて使用しないで下さい。発熱、破裂、発火の原因になりかねません。なお、停電時のご使用を考えると、単一アルカリ乾電池の使用を推奨します。

- ① 正面操作部の電池切れLEDが点灯したとき
- ② 放送受信中に①の状態になり、放送終了後に電池残量メッセージが流れたとき

電池の交換は、次の手順により行います。

1. 電源スイッチを「切」側にし、正面操作部の電源LEDが消えたことを確認してください。
2. 電池蓋の両側の突起を事前に引くと蓋が開き、電池ケースを確認できます。作業性の観点から、電池蓋を外した状態で電池交換を推奨します。(特に壁掛け時) 図1のように電池蓋は装置に対して90°にした状態で手前へ引くと外れます。電池ケースの古い乾電池を取り出して下さい。
3. 電池ケースに表示されている＋表示に従って、新しい乾電池を2本装着します。(図2、図3参照)
4. 電池蓋を取り付けてください。電池蓋を閉める際は押し込んで取り付けてください。電池蓋を開ける際は「バチン」と音がするまでしっかり閉めてください。
5. 電源スイッチを「入」側にし、電源LEDが緑色に点灯後、ACプラグをコンセントから抜いた状態で正面操作部の電源LEDが赤色に点灯していることを確認し、ACプラグを元通りコンセントへ差し込みます。電源LEDは赤色から緑色点灯に変わります。
6. 使用済の乾電池は、お子様の届かないところに置き、公民館、ゴミステーションおよび電気店などにある専用の回収箱、回収缶などに廃却して下さい。



壁又は柱に取付されている場合は乾電池を落下させないように充分に注意して下さい

使用上の注意

(1) 電源スイッチが「入」のまま、ＡＣ電源ケーブルをコンセントから抜かないでください。
ＡＣ電源ケーブルを抜くと電源が自動的に内蔵の乾電池に切り替わり、乾電池が消耗を早めます。１ヶ月以上、家を留守にする場合は、必ず電源スイッチを「切」にし、ＡＣ電源ケーブルを抜き、かつ、乾電池の液漏れによる装置の故障、汚れを防ぐために乾電池を取り出してください。

(2) ロッドアンテナは短くしたり、角度を変えたりすると受信できない場合がありますので、設置時の状態を保ってください。外部アンテナを使用している時は短く縮めてアンテナホルダに固定してください。

(3) 乾電池の使用については、以下の点を留意してください。

- ① 消耗した乾電池をそのまま使用すると、液漏れや必要時に放送が聞こえないことがあります。電池切れＬＥＤが赤色点灯したら早めに乾電池を交換してください。
- ② 乾電池は単１、単２形で１年毎、単３形で３ヶ月毎、に２個とも定期交換してください。
- ③ 乾電池の交換に際しては、全ての乾電池を新しいものに交換し、新旧および異種の混用は行わないでください。

(4) 定時放送になっても放送が聞こえない等、おかしいと思ったときは、次のことを確認してください。

- ① 電源ＬＥＤは点灯していますか。
- ② 電源スイッチは「入」となっていますか。
- ③ ＡＣ電源ケーブルのＡＣプラグはコンセントに差し込んでありますか。
- ④ ロッドアンテナ使用時は、ロッドアンテナが正しいに伸ばしてありますか。
また、設置時の最適な角度になっていますか。
- ⑤ 外部アンテナ使用時は同軸コネクタが正しく差し込まれていますか。

(5) 放送が「聞き取りにくい」、「途切れる」ようなときは電波が弱い場合もありますので、各自自治体担当窓口にご相談ください。

おもな規格

1. 使用電波	60MHz帯 デジタル変調 (16QAM) 電波	7. 消費電力	3VA 以下 (AC100V 供給 待受け時)
2. 感 度	98dBμV 以下 (BER: 1×10 ⁻²)	8. 予 備 電 源	単 1, 単 2, 単 3 乾電池
3. 隣接チャンネル混雑度	42dB 以上		のいずれか一種類で 2 本使用
4. スピーカ出力	0.5W 以上 (AC100V 使用時)	9. 寸 法	約 185W×185H×55D (mm)
5. 高周波入力インピーダンス	50Ω		(突起物を除く)
6. 電 源	AC100V	10. 質 量	本体約 1kg
			(乾電池、電源コードを除く)

故障とお考えになる前に

装置の調子が悪いと、すぐ故障と考えがちですが、ちょっとした操作の間違いや、接続不良のために起こることが多いものです。万一、動作がおかしいと思われるときは、一旦電源スイッチを切り、再度電源スイッチを入れてみて下さい。それでも症状が変わらない場合は、次の点を確認してください。

症 状	主 な 原 因	処 置
放送を受信できない。 電源ＬＥＤが消灯。	電源スイッチが、入っていない。 電源プラグがコンセントに差し込んでなく、乾電池が消耗。	電源スイッチを「入」側にしてください。 電源プラグをコンセントに差し込んで下さい。内蔵乾電池を交換してください。
放送を受信できない。 電源ＬＥＤが緑色点灯している。	放送停止時	放送時以外は、スピーカから何も聞こえてきませんので、定時放送で受信確認してください。
放送を受信できない。 電源ＬＥＤが橙色点滅している。	・外部アンテナを使っていない場合。 ロッドアンテナが伸びていない。 ロッドアンテナが最適な角度になっていない。 ・外部アンテナを使っている場合。 外部アンテナのアンテナプラグと受信装置の「外部アンテナ」コネクタの接続不良。	ロッドアンテナを縮めたり、動かしてしまった場合は元の状態に戻してください。 アンテナプラグと外部アンテナのコネクタを確実に接続してください。
電池切れＬＥＤが赤色点灯している。 放送終了後にメッセージが流れる。	内蔵乾電池の消耗。	新しい乾電池と全て交換してください。 尚、単１、単２、単３アルカリ乾電池のいずれか一種類で２本使用します。種類の異なる乾電池、又は古い乾電池を混ぜて使用しないで下さい。(単１乾電池を推奨)
放送が途中で聞こえなくなる。 または「フツフツ」「ザザー」「フーン」という音が出る。	・電波が弱いため。 ・テレビ、パソコン、冷蔵庫、ラジオが近くにある。 ・自動車や近くの無線局からの影響。	・電波の弱い所で起こり易いので、各自自治体担当窓口へ連絡し、設置場所の変更や外部アンテナの使用をご検討ください。 ・テレビ、パソコン、冷蔵庫、ラジオから離して下さい。またコンセントは別にしてください。 ・アンテナは道路や近くの無線局から離して下さい。

東芝インフラシステムズ株式会社